

平成 31 年 3 月 4 日

足立区立 湊江小学校
学校長 矢田 泰久 様

足立区立湊江小学校開かれた学校づくり協議会
会長 大西 るり子

平成 30 年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

教職員が一丸となって、湊江小の現状を細かく分析し、児童の学力向上や健康な心身の育成のために一つ一つ丁寧に課題に取り組んでいる姿勢を大いに評価したい。児童の基礎学力定着、若手の教員の指導力向上などの成果で、児童が落ち着いて学習できている。

学力向上、体力向上に向けての達成度が一部低かった部分については今後も継続的に取り組んでいただきたい。協議会としても引き続き「湊江の子供たちのために」学校、保護者と連携・協力していきたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

【学力向上】

小中連携での合同研究や校内研究などによる教員の指導力の向上、学力向上委員会を中心とした児童の基礎的な学力定着のための習熟度や個に応じた指導の徹底などで一定の成果が表れてきたことを評価したい。

国際教育及び地域学習、伝統文化に触れる活動など体験的活動を積極的に設けていることは児童が自主的に学んでいく姿勢にもつながり今後も続けていただきたい。

【健康な心身の育成】

挨拶の励行、返事や言葉遣いを重視し、思いやりの心を育てる根気強い指導を今後も継続していただきたい。特に人間関係の基本である挨拶について協議会としてもその素晴らしさを伝えたい。また、いじめの根絶のため教職員の情報交換を密に行うことで早期の発見、解決へとつなげられたことは高く評価したい。

【家庭・地域との連携】

「家庭・地域との連携」についてはより一層学校としてのアピールの必要性を感じる。現在の社会情勢等を考慮した時、児童の健全な成長のためには学校から更なる情報発信し、家庭地域とのコミュニケーションの充実を図る取り組みが必要である。今後も地域の核としての湊江小であり、地域の中の湊江小を目指していただきたい。

3. その他

学校内では伝統的な文化に触れるなど体験的活動を通し、また地域ではお祭りやクリーン作戦などに参加することで、児童の伸びる力、チャレンジする心が育まれていくことを大いに期待したい。

また、若手の教員が多いので、今以上に学校内外での活躍の場を広げ、学校を代表する存在となっていただくよう期待したい。